

**令和8年度 愛知教育大学入学試験問題**  
**標準的解答例または出題の意図及び評価の観点**

**【前期日程】**

**科目名：歴史総合，日本史探究**

---

**I (解答例)**

問1 示された新聞記事が「1924年の移民法」を「排日法」と呼んだのは、この法律によって移民の禁止対象となったのが事実上日本人だけであったためである。まず資料①は、1917年の移民法改正により中国と日本を除くアジア系移民のアメリカ移住が禁止されたことを示している。中国人労働者のアメリカ入国は1882年の「排華移民法」によって禁止されていたので、1917年の法改正後にアジアからアメリカに入国できるのは日本人だけになっていた。次に資料②から、1922年の段階で、日本人は白人であるコーカソイド人種ではないという理由で、合衆国の市民となる資格を有しないとされたことがわかる。そして資料③の「1924年の移民法」第13条cは、「合衆国の市民となる資格を有しない外国人」の合衆国への入国禁止を定めた。しかしこの法律は同時に、東欧・南欧やカナダ・南米諸国からの移民については許可していたため、1922年の判決を踏まえると、事実上日本人のみを対象とする移民禁止法になっていた。

問2 「1924年の移民法」が日本国内での激しい反発を招いた背景には、日本はすでに文明先進国であり、ヨーロッパ列強の仲間入りを果たしたという意識があったと考えられる。資料からは、1914年の日本人が日本人自身を他の「東洋人」と区別し、日本人は文明先進国の一員であるという自負を持っていた一方で、アジア諸国を「劣等国」として差別し、アメリカによる差別的対応を受け入れていることがわかる。また、1917年の移民法改正によって、アジア諸国のうち日本だけが移民禁止を免れたこともそのような意識を助長したかもしれない。しかし「1924年の移民法」がアメリカへの日本人移民を他のアジア諸国と同様に実質的に禁止したことは、日本人にとっては文明先進国としての自負を否定するものとして理解された。

**II (解答例)**

問1 領国と呼ばれる一定の領域を實力で支配する権力者

問2 下剋上

問3 喧嘩両成敗

問4

(1) 北條氏康の攻撃から逃れて上杉憲政が長尾景虎を頼り、景虎に関東の回復を依頼し、上杉の名跡と

関東管領職を譲っていたため。景虎は関東管領の職務を大義名分として関東出兵を行うことが可能になった。

(2) 上杉謙信はほぼ毎年のように関東遠征を行っており、その多くが長期越冬型である(資料 A)。そして占領した城下での人身売買を謙信が指示している(資料 B)。雑兵たちは春・夏は農事を行うが、豪雪地である越後では冬季の二毛作ができず、食糧が枯渇する。そのため雪が深まる直前に謙信は雑兵を連れて長期越冬型の関東出兵を行い、占領地での濫妨狼藉を稼ぎとして、厳しい冬を乗り切ろうとした。

### Ⅲ (解答例)

問1 ア：太政官 イ：国民国家 ウ：大日本帝国憲法 エ：徴兵告諭 オ：日清戦争

問2 地租改正によって農民は現金で税を納めるようになり、地租増徴や松方デフレによる物価下落も相まって生活は困窮した。徴兵で労働力を奪われることは家計に深刻な打撃を与えたため、農民にとって徴兵は大きな経済的負担と受け止められた。また資料①からは政府は兵役を国民の義務としたが、農民の間では近世来の軍事に対する距離感が根強く存在しており、徴兵令が社会的に定着せず、徴兵忌避を引き起こしていたと考えられる。

問3 明治時代の日本は、朝鮮半島の権益をめぐって清やロシアと対立していたため、両国に対抗して軍備拡張を推進した。したがって徴兵忌避の抑制による兵員確保の安定化が急務となったため、地方行政を中心に、兵役に対する意識転換を図るべく、慰労会などの援護組織が設立された。資料②のように、軍務を終えた者へ金銭的報奨を与えることで、兵役の経済的・心理的負担を軽減し、兵役への理解と協力を広めようとした。これにより、兵役を名誉あるものとして広め、清やロシアに対峙できる近代的な軍隊の社会的基盤を構築しようとしたから。

令和8年度 愛知教育大学入学試験問題  
標準的解答例または出題の意図及び評価の観点

【前期日程】

科目名：歴史総合，世界史探究

---

I (解答例)

問1

示された新聞記事が「1924年の移民法」を「排日法」と呼んだのは、この法律によって移民の禁止対象となったのが事実上日本人だけであったためである。まず資料①は、1917年の移民法改正により中国と日本を除くアジア系移民のアメリカ移住が禁止されたことを示している。中国人労働者のアメリカ入国は1882年の「排華移民法」によって禁止されていたので、1917年の法改正後にアジアからアメリカに入国できるのは日本人だけになっていた。次に資料②から、1922年の段階で、日本人は白人であるコーカソイド人種ではないという理由で、合衆国の市民となる資格を有しないとされたことがわかる。そして資料③の「1924年の移民法」第13条cは、「合衆国の市民となる資格を有しない外国人」の合衆国への入国禁止を定めた。しかしこの法律は同時に、東欧・南欧やカナダ・南米諸国からの移民については許可していたため、1922年の判決を踏まえると、事実上日本人のみを対象とする移民禁止法になっていた。

問2

「1924年の移民法」が日本国内での激しい反発を招いた背景には、日本はすでに文明先進国であり、ヨーロッパ列強の仲間入りを果たしたという意識があったと考えられる。資料からは、1914年の日本人が日本人自身を他の「東洋人」と区別し、日本人は文明先進国の一員であるという自負を持っていた一方で、アジア諸国を「劣等国」として差別し、アメリカによる差別的対応を受け入れていることがわかる。また、1917年の移民法改正によって、アジア諸国のうち日本だけが移民禁止を免れたこともそのような意識を助長したかもしれない。しかし「1924年の移民法」がアメリカへの日本人移民を他のアジア諸国と同様に実質的に禁止したことは、日本人にとっては文明先進国としての自負を否定するものとして理解された。

II (解答例)

問1

武帝ののち、漢王朝は前1世紀末に新を起こした王莽に一時帝位を奪われた。その新が滅んだのち、漢王朝の一族が皇帝となって（劉秀、光武帝）復興された。このように新を挟んだ二つの王朝を区別するために、武帝を出した王朝は「前漢」と呼ばれる。

## 問2

地方の有力豪族はこの制度を通じて次第に上位官職を独占するようになり、彼らの門閥貴族化を招いた。

## 問3

江南（長江下流域）にあたる両浙西路、またその南にあたる福建・両浙東路は他の地域に比べて非常に多くの合格者を出している。その理由は南宋の時代に進んだ江南の開発にある。唐末以降、経済発展によって富裕となり、農地を開墾したり買い集めたりして、佃戸（小作人）から小作料をとって耕作させる形勢戸（新興地主層）が現れた。南宋の時代に入ると、江南は稲の生産量の増大や商品を運ぶ水運の発達、また広州・泉州などの港での盛んな海上交易を通じてさらに発展した。これらの発展によって経済力を高めた江南の形勢戸は、科挙の試験で問われた儒学や詩文を十分に学ぶだけの経済力を持っており、科挙の受験において有利であった。

## 問4

宋（北宋）は北方のキタイ（契丹・遼）と西夏にしばしば脅かされており、防衛のための軍事費が必要であったため。また、11世紀初めに宋は北方のキタイ（契丹・遼）に毎年多額の銀や絹を贈る内容の和議を結び（澶淵の盟）、さらに西夏にも毎年銀や絹・茶を贈るようになって、そのための費用が国家財政を圧迫したため。

## 問5

元の統治の中樞は漢人ではなくモンゴル人によって握られ、儒学も重視されなかったため。

## Ⅲ（解答例）

- (1) シャンパーニュ (2) アウクスブルグ (3) (神聖ローマ帝国) 皇帝  
(4) ボローニャ (5) ロマネスク (6) ゴシック  
(7) 吟遊詩人 (8) コンスタンツ

問1 ヴェネツィア、ジェノヴァ、ピサ、アマルフィなど

問2 D

- 問3 (1) ブリュージュ、ガン（ヘント）、イープルなど  
(2) イギリス（イングランド）

問4 商人ギルドによる市政の独占に対抗して、手工業者の親方たちも、ツンフトとよばれる職種別の同職ギルドを結成し、商人ギルドと争いながら市政への参加を実現していった（ツンフト闘争）。

問5 (1) キリスト教の教義と信仰の学問的体系化を目指す営み。アリストテレスの哲学に基づいている。

(2) 学者名：トマス・アクィナス 書名：『神学大全』

(3) 普遍（あらゆる個々のものに共通するもの）は実在するのか（実在論）、それとも思考の中に存在するにすぎないのか（唯名論）を巡る論争。

問6 ヨーロッパでは14世紀以降、気候の寒冷化により、しばしば凶作や飢饉が発生し、また、14世紀半ばには黒死病（ペスト）が流行し、多数の死者を出したため。

問7 貨幣経済の普及により、余剰作物を市場で販売し、そこで獲得した貨幣を蓄積することができるようになったため。

問8 1303年に、フランス国王フィリップ4世が、教皇ボニファティウス8世をイタリアの都市アニーナで捕らえた事件。教皇は、教皇の絶対性を主張し、聖職者への課税に反対してイギリス・フランス国王と争っていた。

問9 教皇クレメンス5世のときに、フランス国王フィリップ4世によって、教皇庁がローマからフランスの都市アヴィニョンに移されたこと（1309-77年）。

問10 「教皇のバビロン捕囚」を経て教皇がローマに戻ると、アヴィニョンにもフランスの後押しをうけた別の教皇が立ち、双方がともに正統性を主張して対立したこと（1378-1417年）。

# 令和8年度 愛知教育大学入学試験問題

## 標準的解答例または出題の意図及び評価の観点

### 【前期日程】

科目名：地理総合，地理探究

#### I (解答例)

##### 問1

海域で生成された石灰岩が，アルプス山脈やヒマラヤ山脈付近における造山運動をうけて離水（隆起，褶曲など）したから。

##### 問2

建物の建材や大理石，チョークの材料，農業用の石灰，など

##### 問3

（理由）

ジャワ島中部付近は，モンスーン地帯に属し，赤道低圧帯に入る夏はモンスーンによって雨が降り，中緯度高圧帯に入る冬は乾期となるから。

（土地利用）

乾季には凹地の底に水がなくなるため，乾燥に強いキャッサバが主に育てられるが，凹地の底に水がたまる雨季では，凹地に陸稲が，斜面の畑に沿ってトウモロコシやキャッサバが育てられる。

（凹地の名称）

ドリーネ（ウバーレも可）

##### 問4 桂林（けいりん，こいりん）

##### 問5 ウ

#### II (解答例)

##### 問1

削除

## 問2

細長い線や曲線はクリーク（農業用水路）であり，農業用水の安定供給に役立っている。

## 問3

越道や真葛は釜無川の氾濫原を避けて高台に集落が形成されており，急流や土砂災害から守るための立地となっている。

鍋島は低平地で河川や水路網の近くにあり，浸水の危険性はあるものの，水田耕作や水運の利便性を優先する立地となっている。

## 問4

農業では排水が悪くなるため，排水路やポンプ場の整備が必要である。都市づくりでは軟弱な粘土層は地盤沈下や液状化のリスクがあるため，地盤改良や堤防の強化が求められる。

## Ⅲ（解答例）

### 問1

物流拠点は，高速道路のインターチェンジ（IC）や主要幹線道路の近くなど，交通アクセスが良い場所に立地しやすい。また，広い土地が確保しやすく，従業員を集めやすい都市近郊や工業団地なども選ばれることがある。

### 問2

パークアンドライドとは，郊外に設けた駐車場に自家用車を止め，そこから公共交通機関に乗り換えて都心部や観光地へ向かう仕組みである。ただ，駐車場整備のコストや，乗り換えの手間が課題となることがある。

### 問3

人口密度が高い地域では鉄道利用率が高く，自家用車利用率は低くなっていることがわかり，人口密度が低い地域では自家用車利用率が高く，鉄道利用率が低いことが読み取れる。その理由は，都市部では大量輸送に適した鉄道網が密に整備され，運行頻度も高いため利便性が高い一方で，人口密度が低い地方部では鉄道路線の廃止や運行本数の削減が進み，鉄道インフラが不十分となっているためである。

### 問4

A

「経済規模の制約」からみると，アフリカ州は世界全体のGDPに対する割合が2.9%と小さく，経済規模が小さいことから，先進国では定着しているインターネットを活用した経済

(経済活動のデジタル化, IT 産業)の発展が遅れている。そのため, データセンターへの需要が少なく, 民間企業による投資が進みにくい。

「基礎インフラの課題」からみると, アフリカはインターネット利用率が 45.2%, 電力アクセス率が 48.4%と低く, 安定した電力供給や高速通信環境が十分に整備されていない。これらの設備の未整備が, データセンター立地の大きな制約となっているとみられる。

B

(場所) ウ

(理由)

アフリカ州の南アフリカの高原地帯や東アフリカの高地は標高が高く, 他のアフリカの地域よりも冷涼な気候があるため, 冷却コストの観点からデータセンターの立地に有利となる可能性があるから。

#### IV (解答例)

問 1

(あ) 20

(い) 4分の3

問 2

オーストラリアは西部が安定陸塊 (オーストラリア楯状地), 東部が古期造山帯となっていて平均的に標高が低く起伏に乏しいが, ニュージーランドは新期造山帯に位置していて地殻変動が激しく地形が急峻であるから。

(南回帰線) え

問 3

両国がともにイギリス (英国) の植民地になったという経験 (歴史) をもち, 今でも英連邦に属しているから。

問 4

ニュージーランドでは, 植民地化当初に結んだワイタング条約を通して先住民の主権が一定程度認められてきたことで, 先住民の言語・文化の復権運動がすすめられたが, オーストラリアではそのような条約がなく, 盗まれた世代に象徴されるように, 長期間にわたって先住民の支配や排除といった同化政策が続いたから。

問 5

両国ともに一次産品を輸出し、自動車や機械類、医薬品など高度な工業製品を輸入する経済構造であるが、オーストラリアが輸出するのは鉄鉱石や石炭、液化天然ガスなどの資源エネルギーであり、ニュージーランドは酪農品や肉類などの農産物を輸出する経済構造である。

問 6

- ①中国
- ②アメリカ

令和8年度 愛知教育大学入学試験問題  
標準的解答例または出題の意図及び評価の観点

【前期日程】

科目名：公共，倫理

---

I（解答例）

問1 (a) 公正な機会均等 (b) 格差

問2

サンデルは、コミュニタリアニズムの立場から、個人の人格や価値観は、所属する共同体の歴史や伝統文化のなかで形成されるのであり、ロールズが原初状態で想定するような、歴史や伝統をもたずに社会のルールを決める個人というものは、現実には存在しないと考えた。サンデルは、善き生き方や社会の正しさをめぐる人々の考え方は、共同体で培われ、その成員に共有されるに至った共通善と深く結びついており、共通善を抜きに正義を語ることはできないとして、ロールズを批判した。

問3

ノージックは、リバタリアニズムの立場から、個人の自由を徹底的に重んじて、政府による福祉政策を批判した。ノージックは、個人は、自分の身体や才能を使って、正当に獲得した財産について、絶対的な権利をもつので、政府が強制的課税によって、所得や富を再分配することは、個人の自由への不正な侵害であるとした。ゆえに、政府の役割は、個人の自由と権利の保障に最低限必要な司法・治安・国防などに限定され、市場における自由な経済活動に原則として介入してはならないとした。

問4

公正さに関する観点から、次のような議論の展開が考えられる。お金がなくて新たな遺伝子技術を利用できない人はどうなるのか。支払い能力にかかわらず、誰もが同じように利用できなければおかしいのではないか。所得や富の不平等は、人々が市場で行使する選択の自由を損なうのではないか。ある財を買う余裕のない人がいるとすれば、落ちこぼれてしまう人にとって不公正である。

美德に関する観点から、次のような議論の展開が考えられる。通常、良い親であるとは、子どもが人生の中で優位に立てるようあらゆる手を尽くすことだと思っている。しかし、一方で、良い親であるためには、ある種の自制が必要だという考え方がある。親になるときは子どもを選ぶわけではない。親であるということは、子どもをあるがままに受け入れることであり、この美德こそ、無条件の愛という考え方の本質である。

## II (解答例)

- 問1 有限な人間にとって「善美なるもの」についての探求は、常に批判的吟味ないし自己批判という形で更新されていく、果てしなき探求の連続であるほかないということ。
- 問2 魂の「理性的部分」「気概的部分」「欲望的部分」の調和によって正義が実現するように、国家においても「統治者」「防衛者」「生産者」それぞれの階級に属する者が調和することによってのみ理想的国家が実現する。
- 問3 懐疑論者のように単に疑うことだけを目的とする懐疑ではなく、いかなる懐疑理由によっても疑うことができないような、絶対確実な何かが存在するかどうかの探求のための「方法的懐疑」であるということ。
- 問4 カントによれば、良心の義務は、無条件な命令であり普遍的法則性として課されるものであるかぎり純粋な「理性」に基づくのに対し、幸福の要求は、苦痛を避け快楽を追求することに存するかぎり「感性」「欲望」に基づくので、両者は対立すると考える。

## III (解答例)

- 問1 人間は生まれながらに徳の端緒としての「四端の心」をもってはいるが、それはあくまで発端としての感情にすぎない。それらを徳そのものとして開花・定着させるためには、学問・教育を通じて教化していく必要がある。
- 問2 人の性が悪であるとは、人は自己保存欲求に基づき自己の利益を追求する傾向を本性として持つということである。それゆえ教育の役割は、社会規範としての「礼」によってこの傾向性の向きを別の方向へと是正することにある。
- 問3 朱子学は格物致知を「事物に即して理を窮めること」と捉える。陽明学は格物致知を「行為を正すことによって良知を実践すること」と捉える。また、朱子学では「理」（道理）は事物のうちに存すると解されるのに対し、陽明学では「理」は自己の心のうちに存する（心即理）と解される。
- 問4 <共通点>  
朱子や王陽明の解釈を通じて儒教精神を学ぶのではなく、古代の聖人や孔子・孟子の古典文献そのものの読解を通じて、より直接的に儒教精神を実証しようとする。
- <伊藤仁斎と荻生徂徠の違い>  
伊藤仁斎は倫理を個人の心（誠の心）のうちに基礎をもつ自然本性的なものと捉える傾向が強い。他方、荻生徂徠は倫理を「礼楽刑政」という社会的な制度のうちで実現されるべき人為的で政治的なものと捉えている。

令和8年度 愛知教育大学入学試験問題  
標準的解答例または出題の意図及び評価の観点

【前期日程】

科目名：公共，政治・経済

---

I（解答例）

問1 (a) 公正な機会均等 (b) 格差

問2

サンデルは、コミュニタリアニズムの立場から、個人の人格や価値観は、所属する共同体の歴史や伝統文化のなかで形成されるのであり、ロールズが原初状態で想定するような、歴史や伝統をもたずに社会のルールを決める個人というものは、現実には存在しないと考えた。サンデルは、善き生き方や社会の正しさをめぐる人々の考え方は、共同体で培われ、その成員に共有されるに至った共通善と深く結びついており、共通善を抜きに正義を語ることはできないとして、ロールズを批判した。

問3

ノージックは、リバタリアニズムの立場から、個人の自由を徹底的に重んじて、政府による福祉政策を批判した。ノージックは、個人は、自分の身体や才能を使って、正当に獲得した財産について、絶対的な権利をもつので、政府が強制的課税によって、所得や富を再分配することは、個人の自由への不正な侵害であるとした。ゆえに、政府の役割は、個人の自由と権利の保障に最低限必要な司法・治安・国防などに限定され、市場における自由な経済活動に原則として介入してはならないとした。

問4

公正さに関する観点から、次のような議論の展開が考えられる。お金がなくて新たな遺伝子技術を利用できない人はどうなるのか。支払い能力にかかわらず、誰もが同じように利用できなければおかしいのではないか。所得や富の不平等は、人々が市場で行使する選択の自由を損なうのではないか。ある財を買う余裕のない人がいるとすれば、落ちこぼれてしまう人にとって不公正である。

美德に関する観点から、次のような議論の展開が考えられる。通常、良い親であるとは、子どもが人生の中で優位に立てるようあらゆる手を尽くすことだと思っている。しかし、一方で、良い親であるためには、ある種の自制が必要だという考え方がある。親になるときは子どもを選ぶわけではない。親であるということは、子どもをあるがままに受け入れることであり、この美德こそ、無条件の愛という考え方の本質である。

## II (解答例)

問1 (1) 解散

問2

小選挙区選挙は、落選者に投じられる票である死票が多く、得票率と獲得議席に落差が生じやすく、民意を反映しにくいことが課題である。

問3 (2) 住民の直接請求 (リコール)

(3) 不信任議決

問4

内閣総理大臣は国会議員の中から選出される間接選挙だが、地方公共団体の長は住民によって選出される直接選挙である点が異なる。

問5 (4) 地方交付税交付金

(5) 国庫支出金

問6

地方交付税は地方公共団体が使途を自主的に決定できる。しかし、国庫支出金は国によってあらかじめ使途が限定されている。

問7 (6) 国際原子力機関 あるいは IAEA (どちらでもよい)

## III (解答例)

問1 (a) 25 (b) 生存権 (c) 公的扶助 (d) 社会福祉 (e) 保健所 (f) 高齢化 (g) 超高齢

問2

税金が財源の大きな割合を占め、全国民に普遍的なサービスを提供している。

問3

事業主の保険料が財源の大きな割合を占め、雇用者を前提にサービスを提供している。

問4 介護保険制度

問 5

1990年代のバブル崩壊後の長期不況や非正規雇用の増加に加え、2000年代以降のリーマンショックを発端とする世界同時不況やコロナ禍などの影響により、高止まりが続いている。

問 6

15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。